

令和7年度 聴覚障がい児教育共同研究会冬季研修会を開催いたしました

12月26日(金)にソノヴァ・ジャパン株式会社より言語聴覚士の鈴木宏明氏をお招きし、地域の幼稚園・保育園・小中学校の先生方を対象に講演会を開催しました。テーマは「小児難聴・補聴器の基礎」で、地域の先生方と本校職員合わせて約35名が参加しました。

講演では、耳の構造や難聴の種類、早期発見・早期支援の重要性に加え、補聴器やワイヤレス補聴援助システム「ロジャー」の仕組みや教育現場での活用について、具体的な事例を交えて分かりやすくご説明いただきました。日常の保育・授業場面をイメージしながら学ぶことができ、理解がより深まる内容でした。参加者からは「基礎から最新の知見まで学ぶことができた」「日々の指導や支援を見直すよい機会になった」といった感想が寄せられ、今後の実践につながる大変有意義な研修となりました。

お忙しい中、遠方よりお越しいただいた講師の先生をはじめ、地域の先生方、本校の皆様ありがとうございました。本研修で得た学びを今後の支援や連携に生かしながら、来年度も多くの教職員の皆様に参加していただける講演会を運営していきたいと思っています。

幼稚部 早期教育相談

1月23日、本校にて就学前研修会を実施しました。保健師さんや地域の保育所の先生方にご参加いただきました。本校早期の概要と、幼稚部および早期教育相談で大切にしている保育についてお話ししました。0歳から就学前までの子ども一人ひとりの発達や聞こえの状態に応じたきめ細やかな支援、保護者との信頼関係を築きながら家庭での関わり方を共有することなどを紹介しました。参加者の皆さんは、子どもの発達や保護者支援に関する内容に深く関心を寄せ、熱心にメモを取りながら話を聞いてくださいました。その後、幼稚部の3歳児・4歳児・5歳児の保育の様子を参観していただき、子どもたちが友だちや教員との関わりを通して成長する姿をご覧いただきました。また、聴力測定室では、難聴体験としてイヤマフを使った聞こえにくさの体験や、軽度難聴児が使用する補聴器の装用体験を行いました。雑音下での聞こえの困難さや、紙がすれる音が大きく感じられることなど、補聴器が音声だけでなく周囲の音も拾うことを体感していただきました。こうした体験を通して、難聴児にとって「聞こえる環境づくり」がいかに重要かを実感していただけたことと思います。難聴児の早期療育では、発達段階に応じた支援と家庭・地域との連携が不可欠であり、早期からの関わりが子どものことばや社会性の育ちに大きく影響することを改めて確認する機会となりました。今後も関係機関と連携しながら、子どもたち一人ひとりの育ちを支える取り組みを大切にしていきたいと考えています。

小学部

【通級指導教室】

先日通級指導教室の修了式を行いました。たくさんの児童、保護者が参加してください、後半は児童の交流会で二チームに分かれ、チーム対抗で「ことばをつくりましょう」というゲームをしました。初対面の児童も多かったですが、相談したり、言葉を一緒に考えたりし、高学年が低学年に寄り添い、協力する様子が見られました。同時進行で本校教員の講話を聞く保護者学習会も行いました。自身の経験を話して下さって、保護者からは「先輩からの話を聞いて良かった。」「改めて勉強になった。」などの感想をいただきました。また機会を作りたいと思います。

【交流学習会】

2学期以降に1~5年生の交流もスタートしました。自己紹介で覚えた指文字や手話を披露したり、授業中には発表したりする児童もいました。始まる前は緊張していた通級生も「楽しかった。また来たい。」と言っていましたし、受け入れてくれた児童たちからも「明日も来る?」という声がありました。学期ごとに参加したいという希望もあり、次年度から実施予定です。



中学部

【研修依頼&出前授業】

今年度は、出前授業を5件、職員研修を4件実施しました。多様性の理解という言葉が広く使われるようになって久しいですが、聴覚の障がいについては、まだ十分に知られていないことも多いと感じています。今後も、こうした取り組みを通して、聴覚の障がいについて少しずつでも理解が広がるよう、地道に地域へ発信を続けていきたいと考えています。

【通級指導教室】

今年度は、本校での通級指導と在籍校での巡回指導を合わせ、25名の通級生に対して延べ約150回の通級指導を実施しました。通級指導では、それぞれが自分のペースを大切にしながら、自身の障がいについて向き合い、感じたことや考えたことを深める時間となりました。こうした経験を通して、自分自身を理解し、考え、将来につながるよりよい選択をしてくれることを願っています。

【交流学習会】

今年度は7名の通級生が延べ28回、交流学習会に参加しました。ある3年生の生徒は「最初は友だちもいなくて不安だし、面倒くさいしイヤだったけど、来てみたらびっくりするくらい楽しかった。何事も挑戦は大事やなと思いました。」と話していました。交流学習会が、子どもたちにとって前向きな一歩につながる機会となりました。